

【平成 24 年度 免許状更新講習シラバス】

| | | | |
|----------------------|---|---|---------------|
| 講習の区分 | 選択 | | |
| 講習の名称 | 指揮法 | | |
| 受講者数 | 30 名 | | |
| 講習日 | 8 月 9、10 日 9 時から 12 時 10 分まで | | |
| 講習時間数 | 6 時間 | | |
| 主な受講対象者 | 小・中・高等学校教諭（音楽） | | |
| 講習会場（教室名） | ホールもしくは、音楽演習室 | | |
| 担当教員 | 森本恭正 | | |
| 講習形態 | 演習形式（講義を含む） | | |
| 講習の概要 | 合奏、吹奏楽などを指揮する際に必須の技術である「指揮法」について、ヨーロッパ音楽の本質を踏まえながら、米国の合理的な楽曲分析を基盤にした方法で実践的、分析的に解説する。すなわち、合唱、器楽合奏を問わず指揮をする上での必須要諦である PERIODEN（楽曲内容を的確に把握し音楽的な構成のもとに区切ることのできる楽節）のを見つけ方から学ぶ。 | | |
| 講習の内容・計画 （時間配分等） | 時 間 | 内 容 | 時間配分 |
| | 9 日(9-12:10) | 10 分程で終わるガイダンスで、この 2 日間の集中講義の全容を示し、先ず基本的な指揮法のポイントを演習並びに講義する。加えて、翌日までに自習すべき楽曲数曲を解説し、演習する。従ってこの日の午後には十分な自習時間を確保しておいていただきたい。 | 休憩をはさんで 3 時間。 |
| | 10 日(9-12:10) | 前日呈示した数曲の楽曲を、実際に、交互にピアノによる演奏をしながら指揮をする。他人の指揮を見ながら（例え右手のみでもよいから）演奏する事で、指揮の技術的諸問題が明確になってくる。 この、演習セッションが評価の対象になる。 | 休憩をはさんで 3 時間。 |
| 履修認定試験の方法 （評価方法等） | 上記の通り。 | | |
| 教科書・教材・参考書 | 『西洋音楽論』 森本恭正著（光文社）を通読してくることが望まれる。 | | |
| その他（受講上の注意事項等） | 指揮棒を持参すること。（形質等は一切問わない） | | |